

はじめに

我が国は今、地方分権社会の構築に向けた大きな時代の変革期を迎えており、特に市町村は、住民に最も身近で総合的な行政主体として、その果たすべき責任や役割がますます大きくなってきております。

また、本格的な少子高齢社会の到来とともに、市町村が提供すべき行政サービスはますます高度化、多様化しており、その水準を将来にわたって確保することが求められています。

このような状況の下、地方分権時代の担い手としてふさわしい行財政基盤の確立などを目的に、いわゆる「平成の合併」と称される全国的な市町村合併が進められてきました。

本県における平成の合併を振り返りますと、この間、9つの新しい合併市町が誕生し、市町村数は平成11年3月末の71から35へと大きく再編されることとなりました。

市町村合併は、市町村長や議会議員をはじめ住民の方々が、地域の将来を見据えて真摯に議論を重ねた結果、時代の要請に応えるべく、多くの課題に直面しながらも、長い歴史や文化を継承しつつ、新しい市・町によるまちづくりを選択するという意味で、地域にとって正に歴史的な大事業であり、県としても関係者の方々や住民の皆様の御尽力に改めて心より敬意を表する次第です。

本書は、各市町村における今後の広域行政の参考となるよう、県内における平成の市町村合併を記録にとどめたものです。

関係各位に御高覧いただき、これからの地方分権改革の進展を見据えた新しいまちづくりの参考としていただければ幸いに存じます。

平成23年3月

宮城県総務部市町村課